

施策評価管理シート

2015(平成27)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
都市整備部	松本 壽次	63-2151 (維持管理室)

施策体系	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本施策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり

1. 施策の基本方針 Plan

- ・市民ぐるみの緑化推進や親水空間の活用などに取り組みます。

2. 目標

○重点目標 Plan

- ・市民が緑と触れ合い憩いの場として利用できるよう安全な都市公園の形成に努めます。
- ・各地区の公園や緑地の適切な維持管理を行い、快適な緑の空間を大切に守り育てます。
- ・比奈知ダム周辺の下流親水公園等の清掃、除草、剪定など適切な維持管理を行い、市民が身近に水に触れ、憩うことのできる親水空間の創出に努めます。

○目標達成に向けた課題 Plan

- ・老朽化が進む公園遊具については、効果的に更新・整備を進めていく必要があります。
- ・住宅地の緑地については、開発事業者から市への移管の推進と適切な管理が求められています。
- ・公園や緑地の適切な維持管理に向けては、国や県の補助メニューの研究・活用など、新たな財源確保に取り組む必要があります。

<行政評価委員会からの意見>

公園や街路樹、緑地等のあり方や維持管理について、地域づくり組織等が管理主体となって自らの提案が反映される管理・整備手法の構築、導入に向けた取組を進める必要がある。

○施策指標 (目標) 及び達成状況 Plan Do

施策指標 (目標) の内容 (単位)		現状値 (H20)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	進捗率
水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	74.0	-	-	77.0	/
	成果	70.8	66.9	70.4	74.0	71.8	-	
市内の公園のうち、地域づくり組織が維持管理をしている割合 (%)	目標	-	-	82.0	-	-	85.0	/
	成果	79.9	84.8	83.0	81.8	81.2	-	
観光入込客数 (赤目滝) (人)	目標	-	-	260,000	-	-	265,000	/
	成果	193,000	145,613	174,752	164,340	161,241	-	
地域づくり組織等による地域緑化活動の件数【延べ値】 (件)	目標	-	-	21	-	-	37	/
	成果	4	20	24	42	48	-	

3. 取組内容

○課題解決への取組内容 Do

- ・平成26年度から「三重県森と緑の県民税」が創設され、これを財源としたの森林整備等に関する交付金事業が実施できるようになったことから、公園樹木や緑地の整備を対象とした事業実施について検討を進めました。
- ・名張川高岩井堰において、地域及び市、木津川上流河川事務所職員等関係者を中心に、魚が遡上しやすい川になるよう、魚道に手作業で改良を加えました。これにより、魚類等の生息環境の保全を行い、併せてこの活動に関する学習会も実施され、広く市民の方々に保全活動に興味を持ってもらう機会となりました。

<行政評価委員会からの意見に対する取組内容>

公園や街路樹、緑地等の維持管理については、地域への委託を積極的に進めています。地域づくり組織等が管理主体となって自らの提案が反映される管理・整備手法の構築等については、地域の実情を考慮しながら検討します。

○地域等との連携、協働に向けた取組 **Do**

県河川をはじめ、市道の草刈、街路樹剪定、公園、緑地等の草刈、剪定作業等の地域への委託を積極的に進めています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価 (合計 2 事業) **Do** **Check**

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		担当室による評価			部局による評価	
					事務事業の施策への貢献	地域づくり組織等との連携・協働	事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
5030	河川ダム対策費	都市整備政策室	277	356	—	該当しない	継続(現行)	—	B
5034	公園管理費	維持管理室	59,251	59,218	B	実践している	継続(現行)	B	B
合計(単位：千円)			59,528	59,574					
小計(うち、一般会計分)			59,528	59,574					
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0					

5. 部局による施策評価 **Check**

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設に対する改善要望が多い中で、今後も効果的・効率的な整備を進め、市民が緑と触れ合い、憩いの場として利用できる公園づくりに向け取り組む必要があります。 河川改修に向け様々な活動団体の取組のなかで、国県に向けて、流下能力の確保と合わせ、市民が親しみを持つ環境づくりへの要望を行いました。

6. 今後の施策の方向性、改善方法 **Action**

<ul style="list-style-type: none"> 地域のまちづくり組織と連携し、地域資源である水空間や田園、里山空間、緑地などの保全、活用に努めます。 市民ぐるみの緑化推進や身近な公園への愛着を醸成するため、今後も地域の市民団体による街区公園等の管理委託や、地域からの提案が反映される管理手法の検討を進めます。 名張川は、既成市街地を取り巻くように流下しており、本市の景観を形成する重要な河川であることから、防災対策としての流水能力確保と合わせて、親水機能を合わせ持つ整備の促進に取り組みます。
--